

〈質問Q & Aコーナー〉

毎月掲載予定です。質問事項も歓迎、事務局までメール、Fax.でご連絡下さい。

質問： **日本人会の主な役割は、又、在留邦人は絶対入会しなければいけないのですか？**

回答：会則では日本人会の目的は会員相互の親善と福利厚生増進、子女教育の向上、日台親善を図るとなっており、それに基づく様々な活動・事業を行っています。その中で最も重要な活動は日本人学校の運営と会員間の安全ネットワークの構築です。交流協会、工商会と共に台湾での日本人社会の基盤を支える三本柱の一翼を担っています。日本人学校へ通う生徒の保護者は必ず会員でなければなりません、それ以外は入会は任意で強制ではありません。しかし、311大震災の後、海外で生活する上で緊急時に備え、日本人会のような組織・連絡網に入っておくことが重要との共通認識が広がってきています。邦人の安全確保は第一義的には交流協会の役割です。然し、緊急時において日本人会は交流協会と協力して対応できる体制の構築を目指しています。

〈質問Q & Aコーナー〉

毎月掲載予定です。質問事項も歓迎、事務局までメール、Fax.でご連絡下さい。

質問： **日本人会の会員構成はどんな感じですか？**

回答：台湾在留の日本人は交流協会への届出ベースで約15000名とされています。このうち20歳以上の方は約12000名とすれば現在の日本人会への会員カバー率は約20%程度です。今後、会の魅力を増やして更にこれを増やしていきたいと考えております。会員の構成は主に企業駐在員とその家族、日本人学校関係者で概ね70%程度、自営業や国際結婚・長期在留者・留学生等で約30%かと見られます。未加入の方は自営業、又、企業派遣でも単身赴任の方や、未婚者の方に多いのではと見られます。現在の地方支部は台中と高雄です。（台中と高雄は準会員受入れは未だ行っていません）花蓮や台東等にも非公式な日本人会で独自の活動をされているグループがあります。

〈質問Q & Aコーナー〉

毎月掲載予定です。質問事項も歓迎、事務局までメール、Fax.でご連絡下さい。

質問： **事務局の図書室の使用ルールはどうなっていますか？**

回答：現在の処、事務局の図書室にある書籍・雑誌は会員であれば自由に無料で借用閲覧できます。利用者は備え置きの借り出しノートに借用日時、氏名、書名、連絡先電話番号を記入して頂きます。冊数限度、返却期間も暫時設けておらず、会員による善意の自主管理にて運営されています。

（通常は3週間程度を返却目安とし、事務局にて未返却書籍は随時チェックしています）

将来は事務局機能強化の一環として管理スタッフやパソコンでの書籍管理も考えております。尚、在庫書籍は主に駐在員の帰国時に寄付頂いたもので、古い本や同じ本が重複していることもあります。新規では台湾関連の書籍を少しずつ購入していく予定です。（紀伊国屋書店から情報提供の協力を得ています）又、ラウンジには週刊文春（持出し禁止）を置くようにしております。

尚、事務局には応接室や会議室が不足しており、時には図書室にて接客・会議を行っていることもありますが、図書室利用でご不便の場合は事務局スタッフまで一声お掛け下さるようお願い致します。

〈質問Q & Aコーナー〉

毎月掲載予定です。質問事項も歓迎、事務局までメール、Fax.でご連絡下さい。

質問： **会報誌「さんご」に一般会員が記事を投稿することは可能でしょうか？**

回答：一般会員の方からの投稿は「開かれた日本人会」として原則歓迎しています。但し、内容は概ね台湾での生活を通して感じたこと、日台交流に繋がること等で政治的主張や宗教に絡んだもの、商業PRのようなものはお断りしています。又、掲載するか否かの判定は会報部会の編集責任者会議にて決定されます。掲載時期や分量等も編集会議の裁量とさせて頂いております。掲載記事は概ねA4、1頁で1200字程度となります。詳細は事務局にお問い合わせ下さい。尚、台湾の自然風景や街角スナップ等の写真の投稿も随時受け付けておりますが、謝礼等は御出し出来ませんのでご了承下さい。